

ME AND MY RESEARCH

OVERTURE

- ◆ 元・大学院生（2003年4月～2010年6月）
- ◆ コースの特任研究員（「図書館情報学専門職教育を高度化するための研究基盤形成」通称LIPER3の事務局）
- ◆ 書類や博士論文と格闘する毎日

A WEEKDAY AT CAMPUS

- ❖ 学部は文系学部 (not 図書館情報学)
- ❖ 「就職氷河期」と「教員採用ゼロ」の壁
- ❖ 将来どうしようか・・・というより，なにを勉強しようか？

THINKING OF NO-ONE BUT ME

- ◆ PCを生かせる勉強はないか？
- ◆ 最初のオリエンテーション
- ◆ 図書館情報学との出会い

THE GLOOMY PROFESSOR

◆ ある教授の一言

図書館情報学を研究したい人はいないものか・・・

今，人不足らしいんだが・・・

◆ ~~人不足なら楽勝！~~自分の学んできたことを生かせるかもしれない。

ME AND MY SCHOOL LIBRARY

- ◆ 学校図書館に興味を持つ。
- ◆ 調べ学習と，学校司書と，母校の放課後アルバイトと。
- ◆ 人はいるし予算もそれなり。でもマイナー。教員免許を取る同輩の間でも司書教諭はマイナー・・・・・・・・。

A STUDENT OF LIBRARY HISTORY

- ❖ 歴史は苦手だけど，ルーツがわかれば納得できるかも。
- ❖ 東京と神奈川について戦前の学校図書館史を調べる。
思ったより昔から「学校図書館」はあった。
- ❖ オリジナリティのある研究ができたから大学院でも楽勝研究が続けられそうだ。
- ❖ 待ってる！大学院。

I WOULD IF I COULD

- ◆ 掲示板に番号はなかった・・・
- ◆ パスしたはずの英語の参考書，単語集とオトモダチ。
- ◆ 色々あって，9月試験に無事合格。

HOLD MY HAND

- ◆ 浮かれ気味の所へ指導教員からメール。
学校図書館の研究プロジェクト会議へ顔を出さないか。
- ◆ よっしゃ、一言言ってやろう。目立てるチャンス！

ONCE I LOSE MY OVERCONFIDENCE

- ◆ 会議で全く発言できず。（え，私の知識なさ過ぎ・・・）
- ◆ 生き残りたい。まだ生きてたい。
- ◆ PCスキル，教職課程の少ない知識，数々の偶然とヘルプで修士2年間を乗り切る。
- ◆ 研究がどういうことか，よくわからなくなった。

PREPARATION FUGUE

- ◆ 博士課程に進もうかやめようか・・・
- ◆ 修論リテイク，方法論ゼミ，初めての査読付き論文執筆

THE CAMPUS WALK

- ◆ ここに来てはまだ将来に悩む。
- ◆ 教育学部を1周，三四郎池を2周，不忍池を3周。
- ◆ 研究プロジェクトの続きに誘われる。

THE SUN HAS GOT HIS HAT ON

- ◆ 2007年夏，国会図書館の電子資料室。
- ◆ 自分の研究上におけるオリジナリティの発見。

TAKE IT ON THE CHIN

- ◆ 探究型学習と学校図書館プロジェクト（2007年～）。
- ◆ 群馬県の某高校の校舎で，ジョン・デューイの『学校と社会』の第3図とよく似た校舎を目にする。
- ◆ 研究のモチベーションを取り戻す。

THE SONG OF PART-TIME TEACHER

- ❖ 非常勤講師の仕事が始める。
- ❖ 現在のことをあまりにわかっていない。
- ❖ 大学院生では教員がフォローしてくれたが、非常勤先では誰がフォローしてくれるのか。
- ❖ 勉強をやり直す。結果的に研究にも良い影響が。
- ❖ 博士論文の作成がようやく始まる。

THESIS MAKES THE WORLD GO ROUND

- ◆ 現在，博士論文と格闘中。
- ◆ アメリカの学校教育は占領期以降の日本の学校教育のモデル。学校図書館もそうだといわれている。でも，本当のところはどうかわからない。
- ◆ アメリカの学校図書館の歴史をたどり，それがどう日本に導入されていったのか。

LEANING ON A LAMPPOST

- ◆ 博士論文の完成予定はいつか？
- ◆ 2012年3月には完成する，
- ◆ たぶん完成すると思う，
- ◆ 完成するんじゃないかな，
- ◆ ま，ちょっと覚悟はしておけ（え

ME AND MY RESEARCH

FUKUJI IMAI (PROJECT RESEARCHER)

URL: [HTTP://RESEARCHMAP.JP/LIBRARIUS](http://RESEARCHMAP.JP/LIBRARIUS)

TWITTER: @LIBRARIUS_I